

臨床心理学科

				a	b	c	d	
学部ディプロマ・ポリシー				仏教精神に基づく4つの力、 ①自分を客観的にとらえる力、 ②目標に向かって継続し努力する力、 ③周りの人を思いやる力、 ④多様性を受け入れて協力する力を身につけ、教育学や臨床心理学領域の知識や技能と統合して活用することができる	教育学・臨床心理学領域における原理的な理解に基づき、「理論と実践を往還」させて多様な視点から知識構築や技能修得をし、諸問題の解決と新たな創造に取り組むことができる ①教育学・臨床心理学領域に必要な基礎的な知識や視点を修得している ②教育学・臨床心理学領域の深い知識構築や技能修得をしている ③社会（特に学校・園や臨床心理学の必要とされる現場）における問題を把握した上で、必要な情報を収集・分析・解釈し、解決に向けて表現することができる ④社会（特に学校・園や臨床心理学の必要とされる現場）における状況を把握した上で、必要な情報を収集・分析・解釈し、未来志向的な創造に向けて表現することができる	社会（特に学校・園や臨床心理学の必要とされる現場）の一員としての意識を持ち、自らを律し、他者と協調・協働することで、教育学・臨床心理学領域の学習・研究で構築した知識や技能等をもとに、子ども・人の発達成長や心の健康に貢献することができる	目的や目標をもって生涯にわたり主体的に学び探究し続け（学び続ける教員・学び続ける心理学の実践家）、自らの振り返りにより、それまでの体験・実践・身につけた多様な能力を統合することができる。あわせて、他者と協働的に学び探究し、ともに成長することができる	
系列区分	授業科目の名称		単位数	履修開始 Semester				
専門科目	教育原論		2	1	○	◎	△	
	教育相談の理論及び方法		2	3		◎	○	△
	特別な教育的ニーズの理解とその支援		1	3	△	◎	○	
学科ディプロマ・ポリシー				仏教精神に基づく4つの力、 ①自分を客観的にとらえる力、 ②目標に向かって継続し努力する力、 ③周りの人を思いやる力、 ④多様性を受け入れて協力する力、 を身につけ、臨床心理学領域の知識や技能と統合して活用することができる	臨床心理学領域における原理的な理解に基づき、「理論と実践を往還」させて多様な視点から知識構築や技能修得をし、諸問題の解決と新たな創造に取り組むことができる ①臨床心理学領域に必要な基礎的な知識や視点を修得している ②臨床心理学領域の深い知識構築や技能修得をしている ③社会（特に臨床心理学の必要とされる現場）における問題を把握した上で、必要な情報を収集・分析・解釈し、解決に向けて表現することができる ④社会（特に臨床心理学の必要とされる現場）における状況を把握した上で、必要な情報を収集・分析・解釈し、未来志向的な創造に向けて表現することができる	社会（特に教育・医療・福祉・司法矯正・行政・企業などの分野）の一員としての意識を持ち、自らを律し、他者と協調・協働することで、臨床心理学領域の学習・研究で構築した知識や技能等をもとに、心にかかわる諸問題の解決・支援に貢献することができる	目的や目標をもって生涯にわたり主体的に学び探究し続け（学び続ける心理学の実践家）、自らの振り返りによりそれまでの体験・実践・身につけた多様な能力を統合することができる。あわせて、他者と協働的に学び探究し、ともに成長することができる	
系列区分	授業科目の名称		単位数	履修開始 Semester				
学科基礎科目	アカデミック・スキルズ		2	2	○	◎		
	心理学史		2	1	◎	○		
	基礎心理学		2	1	◎	○		
	心理学概論		2	1	◎	○		
	臨床心理学史		2	1	○		◎	
	臨床心理学概論		2	1	○		◎	
	心理学研究法		2	1	○	◎		
	心理学統計法1		2	1	○	◎		
	心理学統計法2		2	2	○	◎		
	臨床心理学基礎ゼミ1		2	3		◎		○
	臨床心理学基礎ゼミ2		2	4		◎		○
	公認心理師の職責		2	5			◎	○
	心理学実験1		1	3		◎		○
	心理学実験2		1	5		◎		○
	知覚・認知心理学		2	3	◎		○	
	学習・言語心理学		2	3	◎		○	
	感情・人格心理学		2	3	◎		○	
	神経・生理心理学		2	3	◎		○	
	社会・集団・家族心理学		2	3	◎		○	
	発達心理学		2	3	◎		○	
	障害者・障害児心理学		2	5	○		◎	
	心理的アセスメント		2	3		○		◎
	心理学的支援法(力動的アプローチ)		2	3		○		◎
	心理学的支援法(行動的アプローチ)		2	5		○		◎
	健康・医療心理学		2	3	○		◎	
	福祉心理学		2	5	○		◎	
	教育・学校心理学		2	5	○		◎	
司法・犯罪心理学		2	5	○		◎		
産業・組織心理学		2	3	○		◎		
人体の構造と機能及び疾病		2	3	○		◎		
精神疾患とその治療		2	5	○		◎		

臨床心理学科

学科ディプロマ・ポリシー				a	b	c	d		
仏教精神に基づく4つの力、 ①自分を客観的にとらえる力、 ②目標に向かって継続し努力する力、 ③周りの人を思いやる力、 ④多様性を受け入れて協力する力、 を身につけ、臨床心理学領域の知識や技能と統合して活用することができる				臨床心理学領域における原理的な理解に基づき、「理論と実践を往還」させて多様な視点から知識構築や技能修得をし、諸問題の解決と新たな創造に取り組むことができる ①臨床心理学領域に必要な基礎的な知識や視点を修得している ②臨床心理学領域の深い知識構築や技能修得をしている ③社会（特に臨床心理学の必要とされる現場）における問題を把握した上で、必要な情報を収集・分析・解釈し、解決に向けて表現することができる ④社会（特に臨床心理学の必要とされる現場）における状況を把握した上で、必要な情報を収集・分析・解釈し、未来志向的な創造に向けて表現することができる		社会（特に教育・医療・福祉・司法矯正・行政・企業などの分野）の一員としての意識を持ち、自らを律し、他者と協調・協働することで、臨床心理学領域の学習・研究で構築した知識や技能等をもとに、心にかかる諸問題の解決・支援に貢献することができる		目的や目標をもって生涯にわたり主体的に学び探究し続け（学び続ける心理学の実践家）、自らの振り返りによりそれまでの体験・実践・身につけた多様な能力を統合することができる。あわせて、他者と協働的に学び探究し、ともに成長することができる	
系列区分	授業科目の名称	単位数	履修開始 セメスター						
専門科目	関係行政論	2	3	○		◎			
	心理演習1	1	3			○	◎		
	心理演習2	1	5			○	◎		
	心理演習3	1	5			○	◎		
	心理演習4	1	5			○	◎		
	心理実習1	1	6			○	◎		
	心理実習2	1	7			○	◎		
	少年法	2	3	○		◎			
	家族関係論	2	3	◎		○			
	地域支援論	2	5	◎		○			
	カウンセリング論	2	5			○	◎		
	思春期の心	2	3	○		◎			
	非行臨床心理学	2	3	○		◎			
	子どもの心理臨床	2	3	○		◎			
	心理療法論(箱庭療法論)	2	5			○	◎		
	心理療法論(応用行動分析)	2	5			○	◎		
	臨床心理学特殊講義	2	5	◎		○			
	質問紙法実習	1	5		◎		○		
	統計リメディアル	2	7		◎		○		
	心理学外書講読	2	3		◎		○		
	臨床心理学ゼミ1	2	5		◎		○		
	臨床心理学ゼミ2	2	6		◎		○		
	卒業研究ゼミ1	2	7		◎		○		
	卒業研究ゼミ2	2	8		◎		○		
	卒業論文	6	8		◎		○		
	関連科目	日本史概論	2	1	△				
		東洋史概論	2	1	△				
		西洋史概論	2	1	△				
		日本史特論	2	2	△				
法学概論1		2	1			△			
法学概論2		2	2			△			
倫理学概論		2	1		△	△			
哲学概論		2	2		△		△		
宗教学概論		2	1	△	△				
国際政治学		2	1	△		△			
社会学概論		2	1			△			
経済学概論		2	1			△			
自然地理学1		2	3		△				
自然地理学2		2	4		△				
地誌学1		2	3		△				
地誌学2	2	4		△					